

点描ぐんま経済

日銀支店長

見聞録

■71■

群馬県の楽しみ。それは各地の自然、歴史、風土を感じられること。そして、おいしい食事やお酒をいただけよう。

そうした情報を新聞やテレビで入手している。毎日、群馬県のニュースを録画している。群馬県を取り扱っている番組を複数本録画している。さらに、上毛新聞に群馬県を扱う他の番組が紹介されるので、それも録画する。これらを見ると、かなり群馬県に詳しくなるのだ。

そして、その現場に行く途中にあるのが道の駅。群馬県には32カ

特色豊かな道の駅

地域活力向上に貢献

所の道の駅がある。道の駅は、食事ができるだけでなく、その土地の新鮮な野菜などを売っている。春には東京

また、テレビでもしばしば紹介されているが、しっかりとプランディングされて、訪れる人が非常に多い道の駅もある。こうした取り組みは、地元の農家と連携することによって、地元の名産品の売り上げや雇用に寄与するだけでなく、その地

方にも「〇〇酒造さんのお酒を飲まれたことありますか？」と聞くことがありませぬ」とのお答え。そうこうしていると、その酒蔵は注文先には販売していない事実をつかんだ。そして、早速に注文していただき頂戴した。やったー、これでコンプリートだ。

最近さまざま

では聞いたことのないコゴミ、ハリギリ、コシアブラなどの山菜に出合い、それを購入。家でさっとゆでて食すと、何ともおいしい。まさしく自然の恵みだ。

また、道の駅にはそれぞれ特色がある。トウモロコシの迷路がある所、コンニャク芋の花が見られる所、温泉

域の活力の向上に大きく貢献しているのだ。そして少し調べたところ、道の駅は休憩機能だけでなく、防災機能も有しているらしい。加えて道の駅で売られた。なので、いろんな

有名な所、などなど。



岡山和裕（おかやま・かずひろ） 1969年

7月生まれ。兵庫県出身。東京大学法学部卒。92年日本銀行に入り、業務局統括課長、決済機構局業務継続企画課長、情報サービス局総務課長などを経て、2018年4月から現職。